



HOPETOKO

アブラハム-10
アブラハム、イサクを捧げる
創世記22章1～19
新改訳 2017
ホープチャペル所沢

イントロダクション

22章はアブラハムの人生のクライマックス。ここで神はアブラハムに非情とも思える要求をする。それは、やっと授かった、愛してやまない一人子イサクを生贄として捧げよというものだった。アブラハムは、そしてイサクはこれにどう応答したのだろうか。

1) 本題に入る前に

- ・パズルのピースのように
- ・19章～21章の概要
- ・イサクの誕生（創世記 21：2～6）

2) アブラハムが受けた試練

- ・神の言葉とアブラハムの応答（創世記 22：1～3, 5、ヘブル 11：18～19）
- ・イサクの態度（創世記 22：6～9）
- ・イサクは死からよみがえった！（創世記 22：10～14、ヘブル 11：18～19）

3) 「これは型です」

- ・型1：モリヤの地（創世記 22：2）
- ・型2：3日の道のり（創世記 22：4）
- ・型3：イサクは父に従った（創世記 22：9）
- ・型4：父は独り子を捧げた（創世記 22：10）
- ・型5：「神ご自身が、全焼のささげ物を備えてくださる」（創世記 22：8, 13）

まとめ

聖書全体はイエス・キリストというお方に貫かれている。そして、この創世記 22章は、父なる神が、愛する独り子イエスを人類の罪の贖いのため、十字架上で犠牲の捧げ物としてくださることをあらかじめ示す型である。このストーリーをたどるとき、父なる神と独り子イエス様との強い信頼と結びつきを感じずにはいられない。そしてこの十字架の犠牲は私たちを生かすための神の愛の表れである。



今週のみことば
創世記 22章 1～19

20240407hctj